1）表示の設問通り。
□に数字を書かせる。筆順に注意。
2）絵図を読み取らせ、話しをさせる。ただし、スムーズに運ぶことはまずないので適度なヒントで誘う。
3）？が答えと教えておく。

a）加減図のブォーム補数＝引き算の話をさせる。
引き算は足し算よりはるかに難解。出会う頻度を与える。
b）具体物を含んだ加減図に「小さな物語」を付与するプリミティブな作問体験。具体的な意味づけが（セマンティクス）拡散思考の課題。

特定用具：不要

Date:

① □に 数を書き入れる。

② この図に合った話を考える。

① □に かずを かきいれよう。

② この えに あった おはなしを かんがえよう。